

令和5年度
第1回 社会教育委員会 議

日 時 令和5年7月25日(火)
午後2時～
会 場 戸田市役所3階教育委員室

次 第

- 委嘱状交付
- 教育部長あいさつ

1 開 会

2 自己紹介

3 委員長・副委員長の選任

4 委員長あいさつ

5 戸田市の社会教育事業について(概要説明)

6 議 事

(1) 第5次戸田市生涯学習推進計画進捗状況について・・・資料1、参考資料1

(2) 令和4年度市民大学講座の報告及び令和5年度事業計画について

・・・資料2、参考資料2-1、参考資料2-2

(3) 令和5年度社会教育関係団体への補助金交付について・・・資料3(当日配布)

(4) 戸田市民大学の現状と学習後の知識活用について(意見交換)・・・資料4
テーマ

- ・生涯学習・学び直しを促進するための方策について
- ・大学聴講補助制度の新しいあり方について

7 閉 会

戸田市教育委員会

戸田市の社会教育事業について

1 生涯学習課の事業について

4つの担当により様々な事業を実施

生涯学習担当  <p>市民大学講座の運営・家庭教育・人権教育</p>	図書館担当  <p>図書館資料の収集・保存・閲覧</p>
公民館担当  <p>公民館事業の企画・実施</p>	博物館担当  <p>市の歴史、文化、自然に関する資料の収集、保存、展示、利用</p>

2 「生涯学習」と「社会教育」

【生涯学習】

生活の質の向上や職業能力の向上、自己の充実を目指し、個人の自発的意思に基づいて行われる学習

例) 本を読む、講座・ボランティアに参加する

→知識を得る、感動する

→自分の考え方や意識、その後の行動が変わる = 「学習」

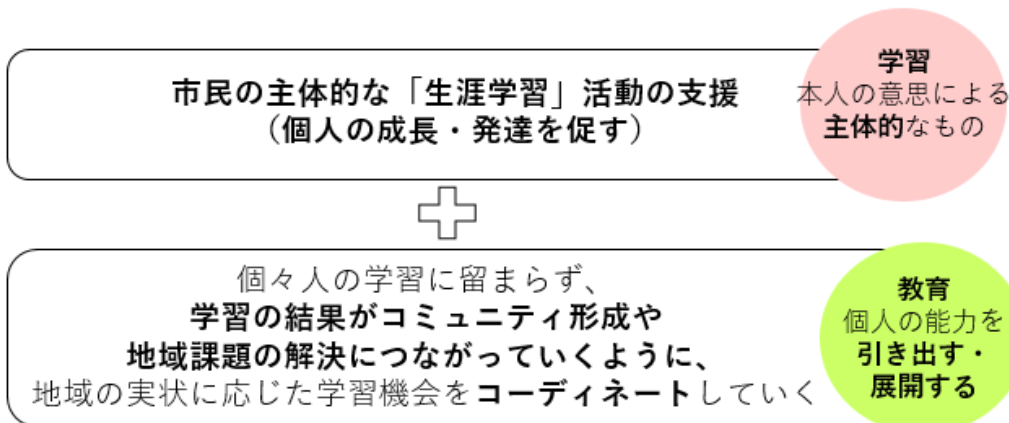
【社会教育】

・個人の生涯学習を推進するために社会が行う組織的な支援

・図書館や博物館、公民館等の施設運営のほか、講座を開催し学習機会を提供することなど、個人の学習ニーズだけではなく、社会的なニーズを踏まえた学習機会を提供する

→学習の効果を地域社会の課題解決や、学ぶ人々のコミュニティ形成にもつなげる

⇒「生涯学習課」で取り組む内容



(参考) 令和5年度戸田市民大学カリキュラム

3 社会教育委員の活動について

① 社会教育委員の職務（社会教育法から抜粋）

- ・社会教育に関する様々な計画を立案したり、教育委員会の諮問に応じて意見を述べたり、必要な調査研究を行ったりしながら、教育委員会に助言する（社会教育法第17条）
- ・地方公共団体が社会教育団体に対して補助金を交付する場合は、教育委員会が社会教育委員の会議で意見を聴かなければならない。（社会教育法第13条）

② 戸田市社会教育委員について（戸田市社会教育委員設置条例から抜粋）

（目的）

第1条 社会教育法第15条の規定に基づき戸田市社会教育委員(以下「委員」という。)を置く。

※社会教育法第15条・・・都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる

（構成）

第2条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会戸田市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が委嘱する。

（定数）

第3条 委員の定数は、12人とする。

（任期）

第4条 委員の任期は、2年とする。

教育委員会は、任期中において特別の事由があるときは委員、委員の委嘱を解くことができる。

委員に欠員を生じたときは、補欠委員を委嘱する。

補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

③ 戸田市社会教育委員会議について

- ・例年、会議は年2回（7月・2月頃）開催。

④ 過去の議題内容

■令和4年度 第1回（8月23日（火） 市役所）

- （1）令和3年度市民大学講座の報告について
- （2）第5次戸田市生涯学習推進計画進捗状況について
- （3）戸田市版生涯学習記録ツール（案）について

■令和4年度 第2回（2月14日（火） 市役所）

- （1）戸田市版生涯学習記録ツールの確定について
- （2）令和5年度市民大学講座実施計画（案）について
- （3）戸田市民大学の現状と卒業後の知識活用について
- （4）生涯学習推進計画の推進に向けた取組について
- （5）まちづくり出前講座の運用変更について
- （6）令和5年度公民館・図書館・博物館事業計画の報告について

議題 1 第 5 次戸田市生涯学習推進計画進捗状況について

第 5 次戸田市生涯学習推進計画について

生涯学習の理念の実現に向けて、戸田市の状況と課題を踏まえて、取り組むべき施策の方向性やその取組内容について明らかにすることを目的として策定。

第 5 次戸田市生涯学習推進計画では、3つの基本方針を立て、それぞれの方針に沿った取組を実施し、生涯学習の推進目指していく。

【計画期間：令和 3 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日（5 年間）】

1 達成状況

令和 4 年度は、オンラインの活用や周知方法の工夫を行ったことで、8割以上の事業を目標どおり又は目標以上実施することができた。 ※（ ）内は令和 3 年度結果

評価基準及び詳細は参考資料 1（【第 5 次生涯学習推進計画】令和 4 年度取組状況）を参照

基本方針	事業数	目標達成（A・B 評価）	目標未達成（C・D 評価）	評価不可
基本方針 1	8	8（7）	0（1）	0（0）
基本方針 2	121	107（97）	8（12）	6（12）
基本方針 3	35	30（30）	5（3）	0（2）

【令和 3 年度】コロナ禍により事業の中止・縮小が目立つ一方、生涯学習課をはじめとする複数の課が、従来の対面形式での実施に代わるオンラインを活用した取組を進めた。

【令和 4 年度】新型コロナウイルス対策に関する市の制限の緩和により、事業を復活させた課が多くみられた。対面とオンラインを併用する事業実施手法が定着してきた様子がみられた。

2 各基本方針に係る取組の評価

①基本方針 1（新たな自分に出会う ～学びのキッカケづくり～）

生涯学習関連動画を掲載した「市民大学アーカイブズ」の開設や、令和 5 年度から開催するシニア向け市民大学講座の実施に向けた調整を進め、学習のキッカケづくりに向けた取組を進めた。

②基本方針 2（人生 100 年時代を豊かに生きる ～ライフステージや多様な市民ニーズに応じた学びの提供～）

新型コロナウイルスに関する市の制限等の緩和から、対面開催の講座やイベントが開催されたことにより、目標を達成した取組が増加した。それらの多くが、オンラインと対面の併用開催等従来の方法から工夫をして実施し、多様なニーズに応じた学習環境を提供することができた。

③基本方針3（まちを元気に ～学びの成果の活用と交流の仕組みづくり～）

市民が市民大学講座を企画する「市民企画講座」を2回実施し、うち1回は人材バンク登録者が講師を務めた。また、事業の実施回数を令和3年度よりも増やしている例も散見され、学びの成果や交流の場を増加させることができた。一方で、実施したものの目標の参加者に満たなかった取組がみられた。

3 今後の計画推進のための取組（令和5年度）

- ・インターネットの併用等、従来の事業の実施方法からの工夫。
- ・事業で実施しているアンケート結果等から市民ニーズを分析、事業への反映。
- ・各課と連携した取組を実施し、個人の学習ニーズにとどまらず、社会のニーズを踏まえた学習機会の提供ときっかけづくりを進める。
- ・市民の学びの成果を活用できるための仕掛けづくりを検討・実施。

議題 2 令和 4 年度市民大学講座の報告及び令和 5 年度事業計画について

戸田市民大学について

平成 20 年度開始。講座受講を単位認定する「市民大学講座」により構成。45 単位取得した方には修了証を授与。大学聴講補助制度の利用が可能。



戸田市公式 YouTube
戸田市民大学紹介動画

〈令和 4 年度実績〉・・・参考資料 2-1 参照

参考資料 2-1 の表のとおり。一部の講座でオンデマンド（YouTube による動画の期間限定公開）配信を行い、受講方法の選択肢を拡大した。

コース名	講座数	受講者数（延べ）
暮らしコース	11	311
スポーツ・健康コース	11	553
地域の学びコース	11	307
大学連携コース	3	500
教養コース	18	1,001
リカレントコース	7	136
合計	61	2,808

〈成果〉

① 受講者の年齢層の多様化

→講座のオンデマンド配信により 20 代・30 代の受講者が増加し、受講者の年齢層が広がった。（従来の会場受講者の多くが 60 代以上）

② 情報発信の強化による市民企画講座の提案数の増加

市民企画講座：市民から講座の企画を募集し、採用された企画を市民大学講座として実施するもの

→メールマガジンや SNS での情報発信、人材バンク登録者への案内送付により、過去最多の企画が提出された。（全 18 企画 中 2 企画を採用）。採用されなかった企画をどのように活かすかが課題。



「身近に学ぶSDGs」



「家族で取り組む産後ケア」



「戸田市内の専門医に聞く～みんなで正しく知ろう乳がんのこと～」

〈令和 5 年度事業計画〉・・・参考資料 2-2 参照

●生涯学習推進計画で定めた基本方針に沿って講座を分類したうえで、開催目的や到達目標を明確化し、各種事業を展開していく。

●シニア向けコースの新設（令和 5 年度戸田市民大学カリキュラム参照）

これまで各公民館で実施していたシルバー講座（寿大学、宝珠大学、壮健大学）を、50 歳以上の方を対象にしたシニアの学びの場としてリニューアルした。

議題 3 令和 5 年度社会教育関係団体への補助金交付について

(単位：円)

	団体名	令和 5 年度	令和 4 年度
1	戸田市公立学校 P T A 連合会	154,000	154,000
2	戸田第一小学校 P T A	434,840	445,640
3	戸田第二小学校 P T A	461,120	468,320
4	新曽小学校 P T A	370,040	370,040
5	美谷本小学校 P T A	236,120	236,840
6	笹目小学校 P T A	217,760	223,880
7	戸田東小学校 P T A	514,760	530,960
8	戸田南小学校 P T A	399,200	396,320
9	喜沢小学校 P T A	264,920	259,880
1 0	笹目東小学校 P T A	345,560	355,280
1 1	新曽北小学校 P T A	377,960	379,040
1 2	美女木小学校 P T A	364,640	373,640
1 3	芦原小学校 P T A	374,000	385,880
1 4	戸田中学校 P T A	361,040	362,840
1 5	戸田東中学校 P T A	317,840	290,840
1 6	美笹中学校 P T A	229,280	229,640
1 7	喜沢中学校 P T A	306,680	313,520
1 8	新曽中学校 P T A	503,240	494,240
1 9	笹目中学校 P T A	358,520	348,440

【単位 PTA (各学校の PTA) の補助金額 積算根拠】

均等割 (1 2 2, 0 0 0) + 人数割 (3 6 0 円 × 児童・生徒数)

【課題】

・単位 PTA に対する補助金額は、児童・生徒数をもとに算出しているが、PTA への加入は任意となっているため、人数割りについては今後検討が必要である。

【参考】

こども健やか部 児童青少年課

	団体名	令和5年度	令和4年度
1	ガールスカウト埼玉県第18団	40,000	40,000
2	戸田市ボーイスカウト後援会	40,500 (予定)	40,500

市民生活部 文化スポーツ課

	団体名	令和5年度	令和4年度
1	埼玉県ボート協会	130,000 (予定)	130,000
2	戸田市美術展覧会実行委員会	2,700,000 (予定)	2,222,014
3	戸田マラソン大会実行委員会	11,093,000 (予定)	10,034,476
4	戸田市民体育祭地区大会実行委員会	4,700,000 (予定)	4,311,954
5	戸田市文化協会	1,230,000 (予定)	1,049,577
6	戸田市スポーツ協会	7,625,000 (予定)	6,004,000
7	戸田市レクリエーション協会	1,113,000 (予定)	891,000
8	戸田市スポーツ少年団	1,159,000 (予定)	761,000
9	戸田リトルシニア野球協会	81,000 (予定)	65,000
10	戸田市少年野球連盟	81,000 (予定)	65,000
11	戸田東小学校区スポーツ推進スタッフ	40,000 (予定)	40,000
12	美女木小学校区スポーツ推進スタッフ	40,000 (予定)	0
13	戸田南小学校区スポーツ推進スタッフ	40,000 (予定)	40,000
14	新曽小学校区スポーツ推進スタッフ	40,000 (予定)	0
15	新曽北小学校区スポーツ推進スタッフ	40,000 (予定)	0
16	喜沢小学校区スポーツ推進スタッフ	40,000 (予定)	40,000
17	芦原小学校区スポーツ推進スタッフ	40,000 (予定)	0
18	美谷本小学校区スポーツ推進スタッフ	40,000 (予定)	0
19	戸田第一小学校区スポーツ推進スタッフ	40,000 (予定)	0
20	戸田第二小学校区スポーツ推進スタッフ	40,000 (予定)	40,000
21	笹目東小学校区スポーツ推進スタッフ	40,000 (予定)	0
22	笹目小学校区スポーツ推進スタッフ	40,000 (予定)	0
23	全国市町村交流レガッタ一般市民出場クルー	160,000 (予定)	160,000
24	全国市町村交流レガッタ一般市民出場クルー	160,000 (予定)	160,000
25	全国市町村交流レガッタ一般市民出場クルー	160,000 (予定)	160,000
26	全国市町村交流レガッタ一般市民出場クルー	160,000 (予定)	160,000
27	全国市町村交流レガッタ一般市民出場クルー	160,000 (予定)	160,000

議題4 戸田市民大学の現状と卒業後の知識活用について



生涯学習イメージキャラクター
「マナビィ」

戸田市民大学の現状と 卒業後の知識活用について



戸田市民大学の現状

■開講

平成20年度からスタート

■市民大学の趣旨

時代と社会の要請に即応し、市の地域性又は課題を考慮したテーマを採り上げ、多様な学習の機会を提供することにより、市民の自主的活動の促進を図り、もって市民の自己教育力を高めることを目標とする。

■制度について

- ・ 6コース（くらし、教養、地域の学び・スポーツ・健康、リカレント・大学連携）
約60講座（R4）
- ・ 単位制（1講座1単位）
- ・ 45単位修了者に修了証の授与
大学聴講補助制度
（大学の公開講座等の授業料の一部を補助
※受講料の3分の2を基準とし、
2万円を限度とする）

※修了者の数・・・累計144名
（令和4年度 14名）



カリキュラム予定表



受講票

学習後の知識活用について

【現状の市民大学】

■受講後の目的を明確にしたカリキュラム編成ではない

- ・ 様々な分野から個人の興味・関心に基づいて学習内容を選択し、深めていく
- ・ 様々な分野を学んでいく楽しさを実感できるように、講座を設定
- ・ 4.5単位の修了→これまでの学習の成果をたたえるもの（通過点）
- ・ さらに学びを深めてもらうことを目指し、大学聴講制度を設けている
- ・ 市民企画講座の企画募集など（実際に自身で講座を企画）



【課題】

■大学聴講補助制度の利用者の少なさ（1名）

→周知不足、市民ニーズとの乖離

■学習意欲をいかに高めるか

→生涯学習・学び直しを促進するために必要な仕組みの検討


■学びを通じた地域づくりや地域の人材育成など、社会教育行政が取り組むべき側面をどのように取り入れていくか



現状の市民大学制度の整理

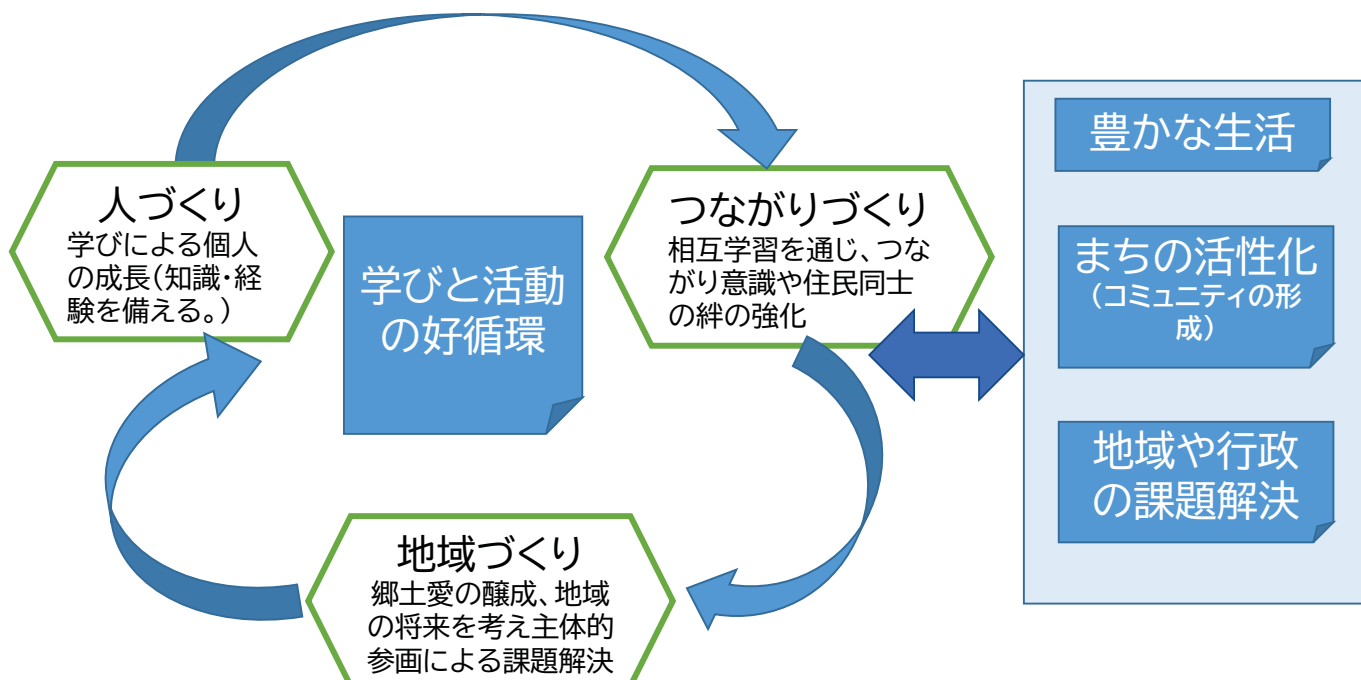
	一人ひとりの生活と地域づくりを支える「学びと実践」の機会を提供する	
社会教育の意義	個人の興味関心に基づいて学びを深める生活を支えるリテラシーの向上	「学び」を通じた地域づくり ～人づくり・つながりづくり・地域づくり～
講座のあり方	【現状の市民大学】 学ぶ楽しさ・生きがいづくり 	【今後求められているもの】 学んだことを地域で活かす
目的	様々な分野を学ぶ・学ぶ楽しさを実感 個別の学習ニーズを満たす	地域づくり・つながりづくり
学習後の成果	自己教育力の向上 様々な知識を身に付ける 単位認定 表彰 大学聴講	地域の人材育成 社会参加・地域参画 学びのステップアップ

今後の展望

<p>社会教育の意義</p>	<p>一人ひとりの生活と地域づくりを支える「学びと実践」の機会を提供する</p> <p>個人の興味関心に基づいて学びを深める生活を支えるリテラシーの向上</p> <p>「学び」を通じた地域づくり ～人づくり・つながりづくり・地域づくり～</p>
<p>具体的な事業</p>	<p>①学びを促進するための「学習記録ツール」の開発</p>  <p>②講座内容、連携大学等の見直し ③大学聴講補助制度の周知強化</p> <p>活動参加や交流へのきっかけとなる情報の提供や活躍の場の紹介をセットにした連続講座を各公民館で実施する。 <例></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px;"> <p>(テーマ) 私にもできる! 市民活動コース <small>(連携講座 協働推進課)</small></p> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-right: 10px;">見守りボランティア、傾聴や健康相談など市民活動団体の講座開催</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">➡</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-right: 10px;">交流イベントやボランティア活動に参加・体験</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">➡</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">ボランティア・市民活動支援センター等の活動紹介</div> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【目的】 地域・社会参加の促進 生きがいづくり</p> <p>【学び・体験】 地域課題の把握、活動体験</p> <p>【成果】 地域デビュー、地域で活躍</p> </div> <p><small>※戸田市ボランティア・市民活動支援センター連携事業⇒地域で活躍する担い手づくり</small></p>
<p>目的</p>	<p>様々な分野を学ぶ・学ぶ楽しさを実感 個別の学習ニーズを満たす</p> <p style="text-align: right;">地域づくり・つながりづくり</p>
<p>学習後の成果</p>	<p>単位認定 表彰 大学聴講 個人の学び直し促進</p> <p style="text-align: right;">地域の人材育成 社会参加・地域参画</p>

今後の展望

◆人生100年時代の生涯学習◆ 「生きがい」「活躍の場」の創出をサポート ～社会教育の視点での取組～



個人の学習ニーズに応えるだけでなく、社会的なニーズを踏まえた学習機会の提供ときっかけづくりも求められている。